



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/saigaways/>

国際会長主題 「私たちは変えられる」 “Yes, we can change.”
アジア太平洋地域会長主題 「アクション！」 “Action!”
西日本区理事主題 「未来に残すべきものを守り育てる」
“Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on the Future”
中部部長主題 「ワイズ総活躍中部」
金沢犀川クラブ会長主題 「明日に向かって飛躍！ ワイズの輪を広げよう！」
会長：北 肇夫、副会長・会計：澤瀬 諭、書記・直前会長：平口哲夫

今月の聖句 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償
ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。
新共同訳聖書 ヨハネの手紙 一 4章 10節

2018年12月強調月間

“Y's Men's Windows 100 (→2022)” 2022年のワイズ100周年までに、全ての部においてエクステン
ションに挑戦して、100クラブ+2022名を実現しましょう！ (E) YES 献金はエクステンションを
支援するためのものです。(YES) 小野勅紘 EMC 事業主任 (西宮クラブ)

☆12月第一例会～クリスマス特別例会～☆

日 時：12月13日(木)19:00～21:00

会 場：ホテル金沢 会 費：6,000円

準 備：平口ワイズ

プログラム

司 会：竹中ワイズ

開会点鐘：北会長

開会の祈り：三谷ワイズ

讃美歌 「ああベツレヘムよ」：一同

聖書朗読 ヨハネの手紙一 4章 7～10節

：司会者

メッセージ 「絆を求める愛の神」

田口昭典牧師(日本バプテスト連盟金沢キリスト教会)

讃美歌 「きよしこのよる」：一同

ワイズソング：一同

ゲスト紹介：司会者

YMCA50年&25年継続会員表彰：朝倉理事長

今月のハッピーバスデイ：北会長

北メット(3日)・竹中ワイズ(5日)

食前の感謝：平口ワイズ

—— 会 食 ——

ギター演奏：垣田 堂 氏 (ギタリスト)

ゲーム・オークション：平口ワイズ

YMCA ソング：一同

閉会点鐘：北会長

記念撮影

☆☆☆11月例会報告☆☆☆

[第一例会] 中部部長公式訪問・バーベキュー特別例会

11月8日(木)19:00～21:00、ホテル金沢、卓話「アメリカにおける恐竜発掘～恐竜絶滅の謎に迫る～」桂 嘉志浩(石川県立自然史資料館 学芸員)、参加者：朝倉秀之・片岡 衡・室山正英(ゲスト)、北・北メット、澤瀬・竹中・平口・三谷(金沢犀川クラブ)、計10名。[第二例会]11月22日(木)19:00～21:00、竹中チャペル、北・竹中・平口・三谷。

金沢 YMCA わいわい農園 12月作業予定 前月に収穫したサトウ・源助ダイコンを登録者に届ける。中部 EMC シンポジウム2018・第3回中部評議会 12月22日(土)13:00～16:00、名古屋 YMCA 会館、参加予定者：北会長。

今月の聖句について クリスマス特別例会メッセージの直前に読まれる聖書箇所最後の10節を冒頭に掲げた。7～9節：愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

1月の当番 準備/澤瀬、司会/平口

*使用済み切手、アル缶、ウェス用布製品をご提供ください。

当クラブ	11月出席者	10月出席率(正会員)	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 4名 広義会員 0名 功労会員 1名	正会員 4名 功労会員 1名 メネット 1名 ビジター 0名 ゲスト 4名	4÷4×100 メーキャップ 0名	前月繰越切手 3,728g 11月分切手 136g 今年度累計 切手 3,864g 現金 0円	前月累計 88,790円 11月 7,000円 今期累計 95,790円
合計 5名	10名	100%		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 11月第一例会報告 ◆ ～ワイズデー特別例会～

澤瀬 諭

7月のキックオフ例会から特別例会が続き、11月第一例会も「ワイズデー特別例会」と称して11月8日(木)ホテル金沢で開催されました。今回の卓話、桂 嘉志浩氏(石川県立自然史資料館 学芸員)により、「アメリカにおける恐竜発掘～恐竜絶滅の謎に迫る～」のテーマで行われました。

なぜ、アメリカ合衆国モンタナ州での恐竜発掘に参加なさっているのか？ この地では恐竜の化石が数多く産出するからだそうです。会場には恐竜化石の実物が5種類展示され、それがどんな恐竜のどの部位なのかについてもスライドで解説してくださいました。

恐竜化石の“お宝”発掘のご苦労や研究者としてのお立場からのお話を聞く機会が得られ、会員5名全員とメネット1名・ゲスト4名、計10名が参加して、有意義な時間を過ごすことができたことに感謝いたします。



◆ながまちふれあいフェスティバルに参加して◆

地域奉仕・環境事業委員長 北 肇夫

“ながまちふれあいフェスティバル 2018”は、11月11日(日)10:00～15:00、同フェスティバル実行委員会・金沢市青少年団体連絡協議会(青团連)主唱に金沢YMCAが呼応し、金沢クラブと金沢犀川クラブが合同参加。会場は中央公民館長町館と長町緑地、参加団体は青团連加盟団体と公民館利用サークル24団体。

屋外ステージでは、開会宣言に続き、当フェスタのキャッチコピー“つながる ここから ながまちフェスタ”の応募者

の表彰や多彩なステージプログラムが展開され、模擬店の売り声や餅つきの掛け声に会場が包まれた。館内では、活動紹介やクラフトなどの体験コーナーなどが始まり、スタンプラリーに挑戦する学童の声が賑々しく響いていた。

今後の課題として、①来季は、長土堀に建設中の青少年交流センター(仮称)に変更、②年々来場者が減少し、広報活動の見直しが必要、③展示内容や展示方法がマンネリ化、などが挙げられる。



右端の展示とパソコンによるスライドが当クラブの活動紹介



◆ 金沢 YMCA わいわい農園体験報告 ◆ 2018年8月～11月

地域奉仕・環境事業委員長 北 肇夫

2018年度4月～7月の農園だよりは、ブリテン8月号に掲載されているので、今回は、それ以降の主な作業“サトイモ収穫”について報告する。

「越前大野のタネイモ」は、11月13日(火)、朝倉理事長・室山さん・北の3名により、また、加賀野菜の「伝燈寺のタネイモ」は、11月17日(土)、幸正会長(金沢クラブ)・澤瀬ワイズ・北の3名により、サトイモの掘り取り・水洗いを行なった。収穫量は、今シーズンの記録的な干ばつはあったものの、獣害もなく平年並みに思えた。その後、納屋で風乾を行い、11月27日(火)に、朝倉理事長・室山さん・北の3名により、袋に詰めて、登録会員に配達する予定である。

なお、加賀野菜の「源助ダイコン」は、順調に成長し、収穫を控えている。今後の農園体験が、多くの参加者を得て交流の場に発展してゆけばと願っている。